

## フロウエルマガジンコラム # 1 2

2 0 0 9年1月号

### 『NYR 2』

去年同じタイトルでコラムを書き始めてから、早くも12ヶ月が経過してしまいました。途中夏休みによる休載が1回あったので、今回のコラムが12回目となります。去年の目標達成度合いを振り返りつつ、今年も1月は新年の目標を立てたいと思います。

#### 2 0 0 8年目標

##### **全従業員がミッションを共有すること**

フロウエルのミッションについてはこのコラムを通して表現方法や言葉を変えながら幾度となく訴えてきました。35期後半から業界の低迷、世界経済危機の勃発、テンポラリースタッフの削減などがあり、なかなかひとつにまとまり難い状況ですが、今36期は正念場となりますので、いやでも団結していかなければ本当にフロウエル号が沈んでしまいかねないです。あとで悔やんでも遅いので、今出来ることを建設的におこなっていきましょう。そこで今年の目標はただ一つ。

#### 2 0 0 9年目標

##### **倒産しないこと**

私はこれを至上命題として、持てる力を駆使し、持っていない力で必要なものは迅速に身に付け、さらには人の力まで駆使して目標を達成する所存です。幸にも今このコラムを読んでいるあなたのような優秀なスタッフに恵まれていますので、力を合わせれば必ず生き残れると信じています。

目標はただ一つと書きましたが、実は状況からしてあまり大書できない裏目標がもう一つあります。収益性を安定させて倒産し難い体質にするための構想を練ることです。

今回会社の危機的な状況にあたってつくづく思うことは、やはり売り先の業界を分散させなければならないということです。ハイテク業界に傾倒しすぎている現状を変えていく

必要があります。具体案として次の2点を考えています。

1. ハイテク以外の業界向け新製品の開発
2. 新しいビジネスモデルの柱をもうひとつ構築する

1については、具体的な構想が既にあります。しかしながら今年1年は新規の金型を起こすことが不可能なので準備の年となるでしょう。試案段階ですが新製品を高効率の新方式金型で成形し、来年以降に半導体、液晶以外の業界へ拡販していくことを目標に考えています。

2については、現行のビジネスモデルであるふっ素樹脂継手メーカーという業態に加えるシナジー関係のある新業態、あるいは全く無関係だがハイテク産業がダウンタームに入ったとき逆に忙しくなる業界への新規参入の可能性を模索しているところです。今年1年間は、人事採用に伴う業務がないので、じっくりとリサーチから始めて企画書を作るところまで行けたらと思っています。バブル期には業務拡大のため異業種に進出した大企業の多くが失敗・撤退し、本業に回帰して資源を集中投資という結果になりました。中にはサイドビジネスの失敗が命取りになって本体が倒産した企業もありました。今回考えるのは、ジェットコースターのようなハイテク業界の好不況格差に少しでも耐性を持つための新事業なので、慎重のうえにも慎重に事業性分析をおこなって、利益が本当に見込めるのか、リスクはどこにどの規模で存在するのか、将来の発展性はどうか等をあらかじめ検討していきます。やらない方がよいと結論付けた場合は、無理に進出することは決してしませんので、皆さんもなにか良いアイデアがありましたらぜひお知らせ下さい。

ハイテク以外向け新製品の開発と新規事業プランの構築は、数年後の飯の種を用意する作業です。会社の永続的発展の為に出来れば2つとも、少なくともどちらか1つは実現していくことを強く決意しています。

現在の世界経済不況はいずれ終息します。そうすればハイテク業界の設備投資も徐々に上向くと予想され、全部署が多忙になっていきます。そのときに顧客に対して今現在よりも良い仕事が提供できるかどうかは、現在のダウンターム中に各人がどう時間を使ったかで決まります。次の繁忙期で勝ち組になる企業は、普段出来ない努力を今している社員が多くいる企業です。プロ活動の傍ら以前中高一貫校でテニス部の監督を7年程務めたことがありますが、選手達に繰り返し言った言葉に次のようなものがあります。「勝敗は試合会場に入る前の段階で既に決まっている」つまり試合に勝ちたいならば、練習中に次の試合を見据えてどういう戦い方をするためにどう練習するのかを自分自身で考えて、テーマを持って取り組まなければならないということです。これはビジネスの世界でも全く同じで、自分の足りない部分を補うか、得意分野を伸ばすか良く考えてプランニングします。顧客企業や顧客にしたい企業へ競合よりも洗練されたサービスを提供するために（これが差別化）新しい知識やスキルを身に付ける努力をしていきましょう（これがノウハウ）。もちろん私にとっても同様です。一緒にがんばりましょう。

今年も宜しく願います。